

強度行動障害の支援力向上を応援します

国の施策や方針により、強度行動障害をテーマにした研修や報告会が各地で開催されるようになりました。しかし、学校や事業所で、実際に効果を発揮するためには、正しい知識に基づいた、現実的で柔軟な対応を積み重ねる必要があります。そこで、青年・成人期の知的障害のある自閉症児・者の支援者向けに、実践感覚を磨く、2つの検討機会を計画しました。それぞれの支援現場で起きている行動障害の事例をもとに、個々の環境や実情に合わせた支援方法を探ります。

個人で学ぶ

事例から学ぶ行動障害学習会

日時

2026年
8月25日・10月27日・12月15日・2月16日
※単会参加OK いずれも 月 18:30—20:00

Web
or
アスタ

内容

参加者からの行動障害事例をもとに、障害特性の視点から問題の整理と、具体的な支援アイデアを検討します。参加者同士の意見交換や助言者からのコメントにより、私たちができることや解決の糸口を模索します。
ケース検討とは別に、各回ごとにテーマを設け、20分程度のミニ講座も提供します。聴講のみの参加も歓迎です。

対象

静岡県東部の特別支援学校高等部教員・障害者支援施設
生活介護事業所・就労継続支援B型事業所 等
青年・成人期の知的障害のある自閉症支援者

- ミニ講座＜例＞
- ・中核的人材養成研修とは
 - ・強度行動障害支援の安全管理
 - ・機能的アセスメント
 - ・競合行動パイパスモデル
 - ・氷山モデル 等

助言者

岡田 祐輔 (TEACCH®公認上級コンサルタント)
中村 公昭 (元障害者支援施設、中核的人材養成研修トレーナーSV)
山本 剛士 (放課後等デイサービス事業所、中核的人材養成研修トレーナー) ※テーマは変更の場合があります

申込

※下記のアスタHPより登録してください
登録者にはメールで各回のご案内をいたします

組織で取り組む

機関コンサルテーション



知的障害を伴う自閉症児・者の支援を行っている事業所等からの依頼に基づいて実施します。学校や福祉事業所での、強度行動障害の対応、自立へ向けた支援、グループ活動での個別配慮、支援体制の工夫等が主なテーマです。一定期間、定期的に訪問して、問題の整理と具体的な対応方法などを一緒に考えます。

希望機関

※機関や事業所としての申し込みになります
電話でお問い合わせください（アスタHP「機関コンサルテーション」参照）

